公平地区

第２層協議体

理事会の様子

団体名	公平地区たすけあい協議会

スローガン	困ったときは、おたがいさま！

協議体の特徴	令和２年７月に第２層協議体を設置。 協議体は、地区社会福祉協議会を中心とし、地区振興協議会、区長会、長寿会、民生児童委員、ボランティア団体等の公平地区各種団体に加え、地区内の社会福祉法人にて構成される。 また、地区内に所在する大学とも共同して事業を実施するなど、多様なネットワークが構築されている。 令和３年に実施した高齢者のニーズ調査から見えた地域課題「情報の発信・取得」と「社会参加」について協議を進め、各種団体体験会、スマホ教室、芙蓉荘によるお出かけ支援サービスを実施。 令和６年１０月には「公平ゆうあいサポート」を設立し、生活支援の有償ボランティアを開始した。

これまでの歩み	令和２年７月　公平地区たすけあい協議会設立 令和３年６月　広報誌「公平たすけあいだより」第１号発行 令和３年１０月　高齢者ニーズ調査を実施 令和５年６月　「高齢世代のための情報誌 公平地区暮らしの便利帳 ～お互いさま 支えあう 地域の情報誌～」発行 令和５年１０月　各種団体体験会開始 令和５年１０月　第１回「スマホ教室in城西国際大学」開催 令和６年５月　公平地区振興協議会へ加入 令和６年１０月　生活支援「公平ゆうあいサポート」設立 令和６年１０月　第１回「芙蓉荘お出かけ支援サービス」実施

情報の発信･取得を支援

スマホ教室in城西国際大学

📌地区に所在する城西国際大学を会場に年１回開催
📌福祉総合学部の学生が講師となりマンツーマンレッスン
📌スマホの基本操作・災害時の情報取得・セキュリティ・詐欺メール等、高齢者のニーズにマッチした内容

✨学生のマンツーマンレッスンや学食カフェでのランチを通じ、多世代交流の場にもなっている。
✨参加者の中には「教わったことを周りの人にも伝えたい」と、支援の輪が広がっている。

社会参加の呼びかけ

広報誌「公平たすけあいだより」による各種団体体験会

📌長寿会をはじめ地区内の各種団体に働きかけ、体験の機会を設定
📌広報誌「公平たすけあいだより」に掲載し、回覧での周知を図る。
📌令和７年度は、９団体が行っているさまざまな活動を紹介し、参加を呼びかけた。

希望者用
公平 たすけあいだより 第13号 社会参加
たすけあい協議会活動 ⇒「各種団体体験会希望者募集中！」

✨少しずつだが参加する人が増えており、社会参加・仲間づくりのきっかけになっている。
✨体験会をきっかけに人や地域とつながることで孤独や孤立防止に。

暮らしのちょっとした困りごとを助け合う

公平ゆうあいサポート

📌地区の高齢者が安心して暮らし続ける地域を目指し、住民同士で助け合う有償の生活支援ボランティア団体

📌一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等を対象に、庭の草取り・ゴミ出し・話し相手等に対応

📌サポーター（ボランティア）は全て地区住民。令和８年４月現在、３２名が活躍している。

✨回覧や長寿会に出向いての説明会で、少しずつ活動が広がっている。

✨公平ゆうあいサポートの活動をきっかけに「困ったときはおたがいさま」で助け合える地域へ。

社会福祉法人の地域貢献活動に協力

芙蓉荘お出かけ支援サービス

📌協議会の構成団体でもある社会福祉法人芙蓉荘が施設の送迎車を利用したお出かけ支援サービスで地域貢献活動を開始

📌協議会では周知や申込み等、構成団体のネットワークを生かし全面協力

📌道の駅での買い物と昼食を組み合わせ、参加者からはたいへん好評

✨買い物の不便解消とともに、参加者同士の交流の場となり、車中はおしゃべりに花が咲く。

✨施設職員とのコミュニケーションが、困った時に相談できる関係性の構築にもつながっている。